

毎週日曜発行
2022 10/02

こども新聞
週刊

がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな子どもだった!?

30

みんなは未来のくらしを考えたことある？ 宮城県川崎町で農業をする

拙昌汰さん(30)は、百年先に受け継がれる豊かなくらしを提案しようと、食料とエネルギーの自給生活を体験できる宿泊施設「百のやど」を、仲間とつくって活動してるんだ。拙さんはどんな子どもだったのかな。

◇ 納得できないことは絶対したくない。小さいころは

留学先で人と自然を学ぶ

拙昌汰さん(30歳・株式会社「百」代表)



社名「百」は百年先につなぐくらし、食とエネルギー自給100%、何でもできる百姓、児童文学「モモ」などが込められています。

ろはがんこな子どもでした。3人兄弟の真ん中で、運送業を営む父にはよく怒られました。父は僕だけ頭ごなしじゃなく言い聞かせるように叱る。反発ばかりの僕に分からせる方法を父なりに考え

たようです。親は厳しいけれど、やりたいことは何でもやらせてくれました。小4で始めた野球に夢中になりました。きっかけは「合宿」。友達と泊まりで遊ぶのに憧れ、少年野球

先住民の村を訪ね、人は自然の一部で、自分も自然とつながって生きていくと教えられました。百年先に自然や環境、

みかづき・しよた 株式会社(かぶしき) 会社百代表。京都市出身。2017年10月に宮城県川崎町移住。21年4月に農園「Ekaai(エカイ)」、今年(ことし)7月に「百のやど」を開設した。チームに入れば行けると聞いて入部しました。高3まで野球を続け、体力と諦めない心が身につきました。



高校卒業後に京都市交通局で地下鉄の運転士などをして約5年働きました。人との関わりが少ない中で本を読むようになり、人とつながる生き方や、地球温暖化に興味を持ち、仕事を辞めてニージーランドに留学しました。

1.5℃ の約束



気候キャンペーンのロゴ

人のつながりを大事に残したいと思いました。現地(げんち)でエネルギー研究者の仲間と出会い、仲間の移住先の川崎に住んで地域おこし協力隊になりました。宿は土地を開拓し木を切って材料を調達。冷暖房はまきや太陽熱、井戸水のシステムで、食事は自分の農園の野菜などで賄い、お客さんに農業体験も用意します。



宿と同じ建物が並ぶ「百の里」構想も進めています。納得して行動するのは子どもたちと同じ。子どもたちには持続可能な未来に向けていろんなアイデアを考え、楽しくチャレンジしてほしいと思います。

今週の注目ニュース

◇3日(月) アンパンマンの日
1988年のこの日、やなせたかしさん原作のテレビアニメ「それいけ!アンパンマン」の放映が始まったんだ。愛と勇気を届けるアンパンマンのテーマソングは、東日本大震災後、被災者の心を癒やしたんだよ。

かよひの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 世界が熱狂! W杯サッカー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ